

令和8年度名古屋市立大学芸術工学部入学者選抜試験 実技試験の問題と答案例および講評について

■前期日程

評価のポイント（募集要項掲載）

描写力（対象を正確にとらえ正確に表す力）を中心に評価します。

実技問題（120分）

配付された塩ビ製パイプとラムネ瓶とコルク製コースターを机の上に自由に配置し、下記の条件に従って鉛筆で描写しなさい。

[描写対象物]

- ・塩ビ製パイプ1個
- ・ラムネ瓶1本
- ・コルク製コースター3枚

[条件]

- ・描写対象物はすべて描くこと。
- ・描写対象物は加工しないこと。
- ・持参した鉛筆で描くこと。
- ・解答用紙は、縦に使用しても横に使用してもかまわない。

【答案例および講評】



ラムネ瓶は細部や映り込みも丁寧に描写されているが、塩ビ製パイプとコルク製コースターの質感や色味などをよく観察することで、よりリアリティのある描写になったと思われる。

■後期日程

評価のポイント（募集要項掲載）

描写力（対象を正確にとらえ正確に表す力）、想像力や表現力（想定したものを的確に表し伝える力）等 evaluates.

実技問題 I（120分）

配付された紙風船と巻きすと発泡スチロール製の直方体を机の上に自由に配置し、下記の条件に従って鉛筆で描写しなさい。

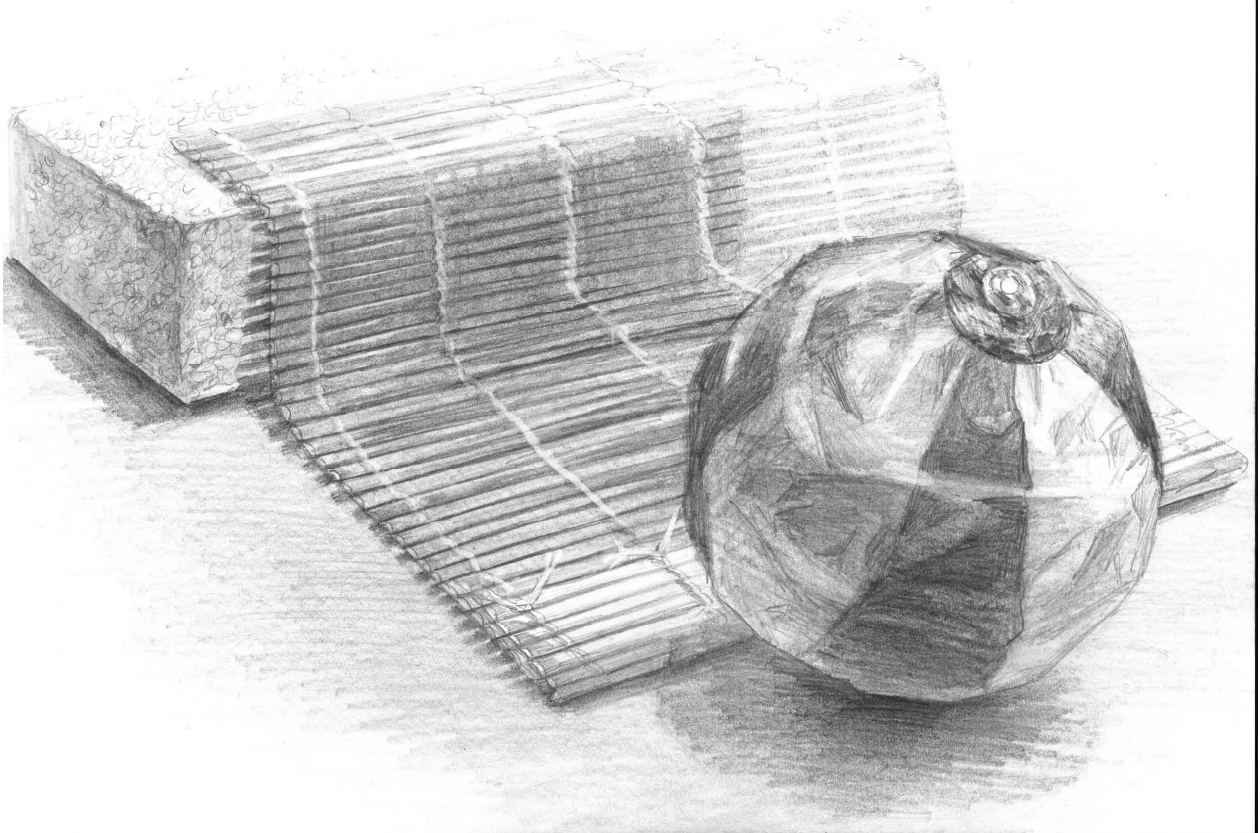
[描写対象物]

- ・紙風船1個
- ・巻きす1個
- ・発泡スチロール製の直方体1個

[条件]

- ・描写対象物はすべて描くこと。
- ・紙風船は、膨らませた状態で描くこと。
- ・巻きすと発泡スチロール製の直方体は、加工しないこと。
- ・持参した鉛筆で描くこと。
- ・解答用紙は、縦に使用しても横に使用してもかまわない。

【答案例および講評】



紙風船の色の差異の表現はやや乏しいが、発泡スチロールや巻きすは細部までよく観察し丁寧な描写は評価に値する。

実技問題Ⅱ（180分）

配付されたシャトルコックと銀の紙、および想定した立体を机の上に配置し、下記の条件に従って鉛筆で描写しなさい。

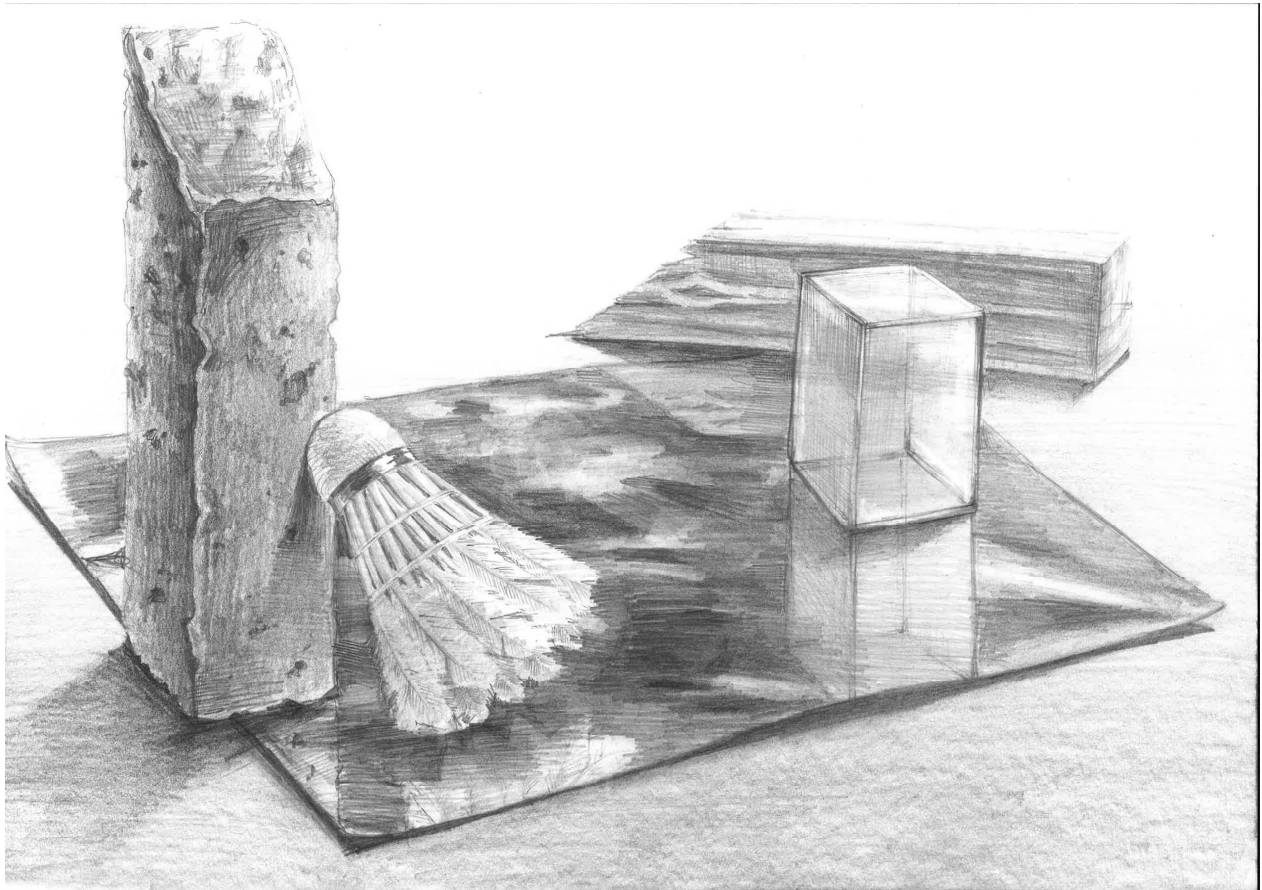
[描写対象物]

- ・シャトルコック1個
- ・銀の紙1枚
- ・想定した立体1組

[条件]

- ・描写対象物はすべて描くこと。
- ・シャトルコックと銀の紙は加工しないこと。
- ・想定した立体は、40mmX 40mm X 400mmの直方体を任意に3分割し、それぞれは木製、コンクリート製、透明アクリル製とする。
- ・銀の紙に、他の描写対象物が写り込んだ状態（一部でも可）を描写すること。
- ・持参した鉛筆で描くこと。
- ・解答用紙は、縦に使用しても横に使用してもかまわない。

【答案例および講評】



コンクリートの表現は概念的ではあるが、質感の描き分けや細部の表情はよく捉えられている。ホイル紙のシャープな映り込みが表現されていたならば、より質の高い描写になったと思われる。